

令和4年度第1回白井市立図書館協議会（概要）

- 1 開催日時 令和4年7月28日（木）15：00～16：55
- 2 開催場所 白井市立図書館2階 研修室2
- 3 出席者
 委員 苛原会長、志摩副会長、堀江委員、吉弘委員、進藤委員、大西委員、安田委員
 事務局 井上教育長、高花文化センター長、鎌田館長、内山副主幹、藤田副主幹、高嶋主査
- 4 傍聴者 2名
- 5 会長あいさつ
- 6 報告事項
 (1)図書館協議会の役割について
 (2)図書館概要について
 (3)令和3年度図書館事業実績について
 (4)令和4年度図書館事業計画について
- 7 協議事項
 (1)盗難対策について
- 8 その他
 文化センターのあり方について
- 9 配布資料
 (1)会議次第
 (2)会議資料
 (3)文化センターだより8月号
- 10 議 事 以下のとおり

会長あいさつ	<p>3年前の協議会と比べ、その間に色々なことが起きて随分変わってきたと思う。その中で図書館が、変わっていくもの、変わらざるを得なかったもの、変えたくないが変えてきたもの、変わってはいけないとって守ってきたものがたくさんあって、ご苦労されたと思います。その中でいろいろ努力されていますので、率直な意見をみなさんと交わすことで図書館を応援できたらと思います。</p> <p>報告事項 (1)図書館協議会の役割について (2)図書館概要について (3)令和3年度図書館事業実績について</p>
委員	<p>この図書館を利用し始めた時、日本で一番資料購入費が多いという話で、すばらしいと思った。</p>
館長	<p>以前は 8,000 万円ほどあった資料購入費だが今は 2,000 万円ほどになっており、職員は知恵を絞って購入している。</p>

委員	基礎知識として伺いたい。資料購入費が異常に下がっている理由、資料の収集基準、購入希望について、除籍基準の4点について。
文化センター長	資料購入費については、開館準備期間の数年はある程度の量を確保するために特に多かった。その後はこちらの希望も出しているが、市の予算全体の絡みの中で減額されている。
館長	<p>図書館が収集対象とする出版点数が年間9万点から7万点に減っているため、購入数を減らしてもよいのでは、という財政の判断である。</p> <p>収集基準については、年報47ページの収集要綱をご覧いただきたい。選定方法は、分類ごとに担当職員がおり、本の間屋である図書館流通センターが毎週発行している「週刊新刊全点案内」という目録や、一部現物を見て選書している。</p> <p>購入希望については、館内に設置している「予約・リクエストカード」に記入していただければ、購入するか、県内外の図書館や国立国会図書館から借りてお応えしている。</p> <p>除籍基準については、年報49ページの除籍要綱をご覧いただきたい。例えば、ガイドブックなど情報が古くなったもの、利用が少ないもの、傷みが激しいものなどが除籍対象となる。</p>
委員	除籍の判断は、客観的で誰もが納得できる判断としてほしい。広い書庫なので、できるだけ多くの書籍、各種資料を可能な限り収蔵してほしい。
館長	除籍せずに済めばよいが、收容するにも限界がある。保存館としては国会図書館や県立図書館を頼り、「千葉県内図書館横断検索」で他館が所蔵しているかを確認してから除籍している。改正等があって内容が古くなった法律や医学関係書も除籍対象となる。
委員	文学は内容が古くなることはないと思うが、分類ごとに除籍対象年数が違うということはあるか。
館長	<p>文学は長く持てるが利用が多く、装丁が以前より弱く、耐用年数が短いため、汚損で処分することが多い。出版年が古くても可能であれば文庫など形態を変えて購入している。</p> <p>(4)令和4年度図書館事業計画について</p>

委員	なつやすみおはなしウィークは、おはなしのへやで行うのか。感染が増えているので広い部屋に変更しているか。
事務局	おはなしのへやは狭いが、ウイルス除去機、ドアの開放、カーテンを開けて、外からでも見られるように対策をして行っている。
館長	協議事項 (1)盗難対策について C Dの盗難が多かったので棚の向きを変えて見通しを良くしたい。
委員	ケースだけ出してC Dをしまうことはできないか。
館長	開館当初は本体とケースを分けていたが、貸し間違いが多く、所蔵点数も増えてバックスペースに置ききれないため、現在の方式になった。
会長	効果音など、特殊なものが無くなっているのか。
事務局	今回は効果音や落語が多かった。特に新しいものではなく 20 年経過したものである。この分野を書庫にしても、また違うものが無くなることが考えられる。
会長	特殊なものほど図書館に置いてほしい。棚を移動するのはよいと思う。
委員	県内の図書館では同じように特定のC Dが無くなることはあるのか。
事務局	蔵書点検結果を公表しているところがほとんど無く、把握していない。
館長	盗難防止用装置を設置している図書館では紛失は少ないと思う。白井の図書館も本屋が万引きで潰れるのと同じような状態になっている。何か対策があれば伺いたい。
委員	C Dの盗難が多かったと聞いてショックである。棚の向きを変えるのは効果があると思う。 現状を伺いたいが、盗難が多いC Dだけの蔵書点検を行っているか。オークションサイトで転売した資料を探したり、盗難届は出しているか。 車椅子の利用者に不便が生じることは悲しいと思う。
委員	売るためなのか、自分のものにしたいくて万引きするのか。その両方から対策を考えるとよいと思う。

館長	<p>部分的な蔵書点検は可能だが、館内整理日に行う必要があるため毎月 は難しい。今後の点検については職員間でも話し合っているところ である。</p> <p>転売については、ネットオークション等では盗難品の出品は禁止にな っているが、実際は図書館の資料が出ていることもあるようだ。それ を避けるために本の天と地に館名のゴム印を押しているが、古書店に あるような研磨機などで削れば消えてしまう。</p> <p>盗難届は、過去に届け出まではいかないまでも、警察に相談し館内の 見回りをお願いしたことがある。</p> <p>車椅子については、新書の棚に人がいなければ通過することはできる。</p>
会長	<p>不明額が 100 万を超えているので驚くが、図書館は性善説に立つ場所 と考えて犯人を捕まえるということではなく、できるだけ工夫して防 いでいくということで、棚を移動して結果を待つのがよいかと思う。</p>
委員	<p>見通しがよくなれば減るだろう。提案には賛成する。無くなるジャン ルを、よりカウンターに近い方に持っていく方法もあると思う。</p> <p>参考になるかわからないが、尾瀬のトイレは汚物処理するのに 1,000 万ほどかかるため使用後に 100 円程度のチップを支払う仕組みになっ ているが、その回収に苦慮している。そこで、子供からのお願いとい うアテンションを作って告知したところ回収率が 3 割から 4 割に上が ったとのこと。このような方法もあるのかとも思う。</p>
委員	<p>館内放送で毎日何回か、紛失、盗難、いたずら（破損、書き込み等） の防止に協力してもらおうよう、ソフトタッチで注意喚起するのと、館 内に数か所、上記について協力お願いの掲示をするといった方法で利 用者の関心を高めるやり方も検討の価値がある。何もしないよりはる かに良い。</p>
委員	<p>昔は本屋で、はたきを持って見回ったという話を聞くが、それと同じ で案内係として見回ってみてはどうか。</p>
委員	<p>図書館の性質上個人的には反対だが、監視カメラを置いてある図書館 はあるのか。</p>
館長	<p>監視カメラを付けている図書館もある。</p> <p>盗難防止対策として IC タグの導入が進んでいる。白井も検討したが 費用が高額のため導入には至らなかった。</p> <p>新規事業の予算確保は難しい状況で、導入費は図書館費から割くこと になる。IC タグは盗難防止のほかにも予約本の受取りでセルフ貸出</p>

	<p>機が使えたり、蔵書点検の日数が減るなどの用途がある。 白井は性善説を信じてこのままなのか、あるいは数年かけて少しずつ予算を削りながら導入した方がいいのか。</p>
委員	<p>盗難防止を考えたとき I C タグは有効だと思う。 積み立て方式がとれるのなら盗難対策を行って、途中で盗難が減ってきたら本の購入に回すなどできるとよい。 図書館は死角が多いので警察や外部の力を借りながら見回りを強化するのもよいと思う。</p>
委員	<p>警察に見回ってもらったり、健全な予算の中で I C タグを付けたりすることは、利用者の目に触れることで便利であるというアピールになるとともに、盗難をけん制する力もある。</p>
委員	<p>何年かかけるのではなく全部同時にやらないと効果がないのではないか。高額な導入費を考えると、毎年このくらいの不明数はやむを得ないとの判断でもよいのではないか。</p>
館長	<p>全部ではなく一部に貼ることも可能だが、費用対効果は不明である。</p>
委員	<p>その本が廃棄になった場合どうなるのか。</p>
館長	<p>I C タグも同時に廃棄になり再利用できない。使用中のタグが製造中止になればすべて貼り替えることになる。</p>
委員	<p>都内から帰ってきて図書館が閉まっても使えるようになるなど、市民が便利に使えるようになるには時間とお金がかかる。将来的によいのかどうなのか。可能性としてはやったほうがいいのか。</p>
館長	<p>費用対効果は今の段階では提示できない。今年度予算獲得のための会議に諮るか、今回意見をお伺いしている。 未来については、DX(デジタルトランスフォーメーション)といったテクノロジーを使った人手不足の解消などが考えられていて、図書館閉館時の予約本受取りなど、スーパーにある宅配ロッカーのように使うことも考えられる。</p>
委員	<p>盗難防止以外にもメリットがあるということで、市民も納得できるように具体的に調べて提示していただくとよいと思う。</p>
委員	<p>利用者が無断で持ち出した場合、警報が鳴ってストップがかかるのか。</p>

館長	入口に音と光で知らせるようなシステムを考えている。
委員	<p>お金がかかるので、これをやってどれだけ予防になるのか。 まず図書館利用者の良心に訴えるのがいいかと思う。万引きを少しでも防ぎたいというだけでは、材料が乏しいのではないか。</p>
館長	<p>このあと文化センターのあり方について話がある。 文化センター内のレイアウトが現状とあっていないため、社会性に見合うように図書館を変えてゆくのか検討の段階である。費用をかけて効果がないことがわかれば他のことをしましょうというのも一案である。レイアウト変更なのか児童コーナーを広げるのか消音設備なのかなど、優先順位は変わってくると思う。 今回はＩＣタグ導入の調査をするかどうか、ご意見を伺った。調査の結果で費用が掛かりすぎるということなら他の部分に注力する。</p>
会長	いろいろな意見が出たので今後それが役に立つと思う。
事務局	<p>その他 文化センターのあり方について 文化センターのあり方検討委員会議概要、第 6 回までの資料をお渡ししているの、それについて説明する。 文化センターは平成 6 年の開館で 7 月 3 日に 28 年が経過した。老朽化が進んでおり施設の修理や更新には多額の費用がかかる。大規模改修を実施する際は建築基準法の改正に合わせた改修をする必要がある。 市では検討委員会を設置し、拡大するのか現状維持なのか規模を縮小するのか廃止なのかを検討している。 検討委員会は令和 2 年度に検討を開始し、今年度中に提言をまとめ教育委員会に提出することになっている。市はその提言を受けて方針を策定する。今後進むであろう、少子高齢化や人口減少などの社会情勢を見据え、財政規模も減ることを考え検討を進めている。 図書館については、運営方式や公民館の図書室がうまく利用できれば本館は縮小できるのではないかと、盗難が多いがどうしてなのか、児童コーナーの音、Wi-Fi 導入で利用は変わったか、トイレは館外にあった方がよいなどの意見が出た。 図書館は必要な改修を行い、縮小もやむなしという意見が出ている。 協議会委員のご意見を 8 月の会議で報告したいので、忌憚のないご意見をいただければと考えている。</p>
委員	建物の躯体はそのままなのか。取り壊して部分的に建て直すのか。あるいは図書館独自の外観、内部設計、書架、サービスエリア、動線などを前もってデザインして

	おくことも視野に入れておく必要がある。
委員	機能的な面は変更しないで物理的な部分を縮小するなら話は分からないことはないが、単純に蔵書を減らす、面積を減らす、職員を減らす、というのは違う気がする。地方の図書館はその地方の文化・歴史の集積所であり文化都市白井としてはありえない発想だと思う。
会長	プラネタリウムと図書館は、私たちが誇っているものだと思うので発展させてほしい。
委員	センター図書室を充実させ図書館を縮小する案も出ているそうだが、具体的にどのようなにするのか。各センターも建て直すのかどうするのか。各センターの充実と併せて話していただきたい。各センターを充実させる、というところで止まってしまう、図書館が縮小することになってしまうのは悲しい。
委員	この図書館より規模が小さいところでも、たとえば学生と大人が同じスペースでしゃべれるような感じで勉強できたり、子供が大声を出しても迷惑がからなくなっていたり、コーヒーを飲みながら雑誌が読めるところもある。大きな本屋ができたとしても、わくわくできるようなものが残ったり加わったりして、他市からも見に来るようなものになっていけばよいと思う。何かを縮小していくのはマイナスイメージがある人が多いかもしれないが、貴重なお金を使ってより多くの人に満足していただけるとよいと思う。
委員	ICタグもなんでもそうだが新しいことをするにはお金がかかるのは当たり前で、どうしても必要なら実質的にお金がかかってもやったほうがよいのではないか。
委員	学力でもなんでも基盤になるのは本であり、本を読むと心が豊かになる。これからの社会を担う子供を育ててゆくうえで基盤となるのが図書館だと考える。魅力的な、行きたくなるような、そして癒される市民の憩いの場であってほしい。
会長	これで閉会します。ありがとうございました。